

社会工学学位プログラム

DPPS・専門基礎(選択必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02CN051	社会工学ファシリテーター育成プログラムI	3	2.0	1・2	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	社会工学に関するプロジェクトに積極的に介入し、プロジェクトの進行に寄与できる能力を実践を通して養う。具体的には、「文化共生のためのコミュニティガーデンの計画と運営」、「つくばみらい市まちづくりワークショップ」、「常総市まちづくりワークショップ」、「津別町まちづくりワークショップ」、「Facilitator of organizational behavior research for graduate students」、「ランドスケープ・デザイン・スタジオ」等のプロジェクトのいずれかに参画し、課題に取り組む。	OBLA501と同一、01CN053と同時実施。
02CN052	社会工学ファシリテーター育成プログラムII	3	2.0	1・2	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	社会工学に関するプロジェクトにおいて協働のプロセスを管理、展開できる総合的能力を実践を通して養う。具体的には「文化共生のためのコミュニティガーデンの計画と運営」、「つくばみらい市まちづくりワークショップ」、「常総市まちづくりワークショップ」、「津別町まちづくりワークショップ」、「Facilitator of organizational behavior research for graduate students」、「ランドスケープ・デザイン・スタジオ」等のプロジェクトの中で、「社会工学ファシリテーター育成プログラムI」で選択しなかったプロジェクトに参画し、課題に取り組む。	OBLA502と同一、01CN054と同時実施。
02CN053	社会工学インターンシップ	3	2.0	1・2	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	社会工学に関連する機関でインターンシップを行い実践力を養う。履修希望学生は、申請書に、受入組織、受入組織所在地、受入組織責任者、受入組織担当者、受入期間、就業日数と時間(35時間以上であることが必須)、インターンシップ中の連絡先、補助等を明記し、学生教育研究災害障害保険(インターンシップコース)に加入した上で申請書を提出する。履修が認められインターンシップに参加した後、インターンシップの内容の概要、具体的成果、インターンシップ指導担当者の所見等からなる報告書を提出し、担当教員が評価を行う。	OBLA500と同一。
02CN054	社会工学特別講義I	1	2.0	1 - 3	秋AB	集中	3E404	モヴシユク オレクサンダー	社会経済事象に関わる国際比較等について講義をおこなう。いくつかの国際データセットを用いながら、生活水準や経済成長率などを例に、国際間比較を行う視点やその相違の背景について学ぶ。次に、それらの事象を説明する経済モデルについて紹介し、実際のデータを用いて計量的に同定するために必要となる基礎的な理論について学ぶ。	01CN056、OAL5115と同一。
02CN055	社会工学特別講義II	1	2.0	1 - 3					計量分析による国際経済比較について講義をおこなう。国際機関や論文等で公表されているデータを紹介しながら、分析の目的やデータの特徴に合わせ、どのような計量経済学のモデルや推定手法を用いるのが適切なのか、また、得られた結果をどのように解釈すれば良いのかについて学ぶ。併せて、計量分析に際してどのようなソフトウェアを用いることができるか、それぞれの長所短所に触れながら、紹介する。	The class will be taught in English, with optional explanation in Japanese. 01CN057、OAL5116と同一。 2020年度開講せず。
02CN056	社会工学特別講義III	1	2.0	1 - 3	通年	随時				01CN058と同一。
02CN057	社会工学ファシリテーター育成プレプログラムIII	3	1.0	1 - 3	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	社会工学に関するプロジェクトにおいて、総合的にプロセスを展開できる能力を実践を通して養う。「社会工学ファシリテーター育成プレプログラム」は「社会工学ファシリテーター育成プログラム」より実施期間が短いプロジェクトを対象としており、具体的には、「都市計画マスタープラン策定の支援活動」、「マイクロ都市計画立案のための支援活動」、「石岡市の歴史的建築物および里山景観の保全・活用案の提案」等のプロジェクトのいずれかに参画し、主体的に課題に取り組むことで、総合的にプロセスを展開できる能力を養う。	OBLA503と同一。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02CN058	社会工学ファシリテーター育成プログラムⅣ	3	1.0	1 - 3	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	社会工学に関するプロジェクトにおいて、総合的にプロセスを展開できる能力を実践を通して養う。「社会工学ファシリテーター育成プログラム」は「社会工学ファシリテーター育成プログラム」より実施期間が短いプロジェクトを対象としており、具体的には、「都市計画マスタープラン策定の支援活動」、「マイクロ都市計画立案のための支援活動」、「石岡市の歴史的建築物および里山景観の保全・活用案の提案」等のプロジェクトの中で、「社会工学ファシリテーター育成プログラムⅢ」で選択しなかったプロジェクトを選択し、主体的に課題に取り組むことで、総合的にプロセスを展開できる能力を養う。	OBLA504と同一。
02CN059	社会工学特別講義Ⅳ	1	1.0	1 - 3	秋AB	集中	3E404			開講未定 01CN061と同一。
02CN060	社会工学特別講義Ⅴ	1	1.0	1 - 3	秋C	集中	3E404	水野 誠		01CN062と同一。
02CN062	社会工学特別講義Ⅶ	1	1.0	1 - 3	通年	集中				01CN064と同一。
02CN063	社会工学特別講義Ⅷ	1	1.0	1 - 3	通年	集中				開講未定 01CN065と同一。

DPPS・専門(必修)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02CN001	社会工学博士特別演習Ⅰ	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	指導教員と2名の副指導教員の同席のもと、博士論文に関する計画発表を行い、論文執筆までの見通しを得る。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN002	社会工学博士特別演習Ⅱ	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	学会等において自ら口頭発表を行うことで、研究者として必要なプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身に付ける。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN003	社会工学博士特別演習Ⅲ	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	指導教員と2名の副指導教員の同席のもと、博士論文に関する中間発表を行い、論文執筆までの見通しを得ることで評価を受ける。	社会工学博士特別演習Ⅲの履修は、社会工学博士特別演習Ⅰの履修に先んじることはない。履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN004	社会工学博士特別演習Ⅳ	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	査読付き学術論文誌に投稿する論文を自ら執筆し、研究者として必要な論文執筆能力を身に付ける。	履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN005	社会工学博士特別研究Ⅰ	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	審査委員の同席のもと、博士論文における成果の見通しについて発表を行い、論文提出に関して予備審査を受ける。	社会工学博士特別研究Ⅰの履修は、特別演習Ⅰ～Ⅳの履修に先んじることはない。履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。
02CN006	社会工学博士特別研究Ⅱ	2	2.0	1 - 3	通年	応談		社会工学学位プログラム担当教員	審査委員の同席のもと、執筆した博士論文に関して最終発表を行い、本論文の審査を受ける。	社会工学博士特別研究Ⅱの履修は、社会工学博士特別研究Ⅰの履修に先んじることはない。履修年次はプログラムリーダーの指示に従うこと。